

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	H24～R13	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業まつり」の開催を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球海炎祭・・・来場者数1.75万人 ・はごろも祭り・・・来場者数16.8万人 ・産業まつり・・・来場者数2.8万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数⇒コロナ禍前の水準であるH30年度実績と同等数を目標値とする。 H30年度実績:279,874人 【目標値】:28万人 	<p>今後も観光産業の振興を図るため、「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業祭り」が継続して開催ができるように支援を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催ができた過去3年間の実績をベースに来場者の約5%増を成果目標とする。 ・宿泊施設の宿泊者数はコロナ禍以前の水準を目標として設定した。
1	②	企画展開催事業	H24～R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展の開催:年2本	企画展1本あたりの平均入館者数:1,390人以上	【今後のスケジュール】年間2本以上の企画展を開催する。	【R5成果目標設定の考え方】コロナ禍により入館者数の落ち込みがみられることから、目標指数はR2～4年の平均入館者数をもとに設定した。
1	③	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25～R13	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	1万鉢の花の植樹	キャンプ会場の装飾(花)に対する来場者の満足度 80%以上	今後も美ら島沖縄、宜野湾を全国へPRし、観光産業の振興を推進するため、グリーンコミュニティ事業を継続して支援する。	【R5成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30～R10	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(4期)(駐車場・照明灯整備)の実施	再編整備工事(4期)(駐車場・照明灯整備)の完了	<p>【R11成果目標】施設利用者数 655,000人</p> <p>【今後のスケジュール】R5:再編整備工事(4期)</p>	【R11成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	嘉数高台公園施設等施設整備事業	H30～R5	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性の向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事(4期)(落下防止手摺等、展望台機能拡張)の実施	再編整備工事(4期)(落下防止手摺等、展望台機能拡張)の完了	<p>【R6成果目標】戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】R5:再編整備工事(4期)</p>	【R6成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ~ R13	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う宜野湾まりん協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	ぎのわんマリン協会の支援	ダイビング・シュノーケリング客: 400人/年	・サンゴの植樹、清掃活動を継続して実施する。 ・本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立する。 ・体験ダイビングにおける観光客の誘客を図る。 ・マリン協会として自主財源を獲得できる取組みを実施する。 ・市内ダイビング事業者にダイビングスポットの共有を行い、本市の海を多くの事業者が活用できるように取組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ~ R13	スクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	○SSW18名の配置 ○SSWIによる児童生徒の支援数489名(支援数は前年度実績)	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績(56%)以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な支援が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R5成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。
2	②	適応指導教室事業	H24~ R13	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施する。	入級児童生徒の集団活動や学校適応等に関する支援を実施する。 (適応指導教室入級児童生徒数:2名)	入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の60%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 令和4年度の実績(4月から10月)を参考に設定。 【出席日数/出席すべき日数】
2	③	児童生徒等相談事業	H24 ~ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	○臨床心理士等5名の配置 ○臨床心理士等による児童生徒の支援数189名 (支援数は前年度実績)	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合前年度実績(26%)以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な心のケア等が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R5成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。
2	④	非行防止等巡回活動事業	H24 ~ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	○街頭指導員16名の配置 ○週3回、21時~23時頃、市内の公園を中心とした夜間街頭指導の実施 ○年1回研修の実施 ○特別街頭指導(中学卒業式)	・年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減	深夜はいかいは非行の入口と言われるほど、不良行為との関りが高いと言われている中、本県は気候や産業の形態から夜型社会と言われ、その影響は青少年にも及んでいると考えられる。そのため、今後も街頭指導員を配置し、青少年の非行の未然防止や早期発見・抑止効果を目的に、夜間街頭指導を実施し、関係機関と連携し青少年の健全育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 コロナ禍のため計画通りの活動に取組めない状況があるが、過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	県学力調査(6月、2月実施)の正答率30%未満の児童生徒の割合(県平均差)を県学力調査 正答率30%未満の子の割合について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少(6月と2月比較)	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数:10団体 (スポーツ活動団体:9団体、文化活動団体:1団体)	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「補助を受けたことにより、旅費の負担が軽減され県外大会に参加がしやすくなった」:80%以上	保護者へのアンケート結果を勘案しながら、補助の対象範囲や補助額等を検討しつつ、事業を継続的に進めていく。	【R5成果目標の考え方】 アンケート結果「県外の大会への参加が容易になった」80%は、大多数の児童生徒へ効果があったと考えられる値として設定した。
2	⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～ R13	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体等へ県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体等への支援を実施 支援人数(見込み):200人	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	【今後のスケジュール】 R3のアンケート結果は、「視野が広がったと思う」が90%を超え、県外へ派遣された大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる。 今後はこの数値を維持するため、継続して支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。
2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:10人、小学校46人、中学校16人)	学校、保護者の満足度:88%以上	今後も宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑨	はごろも学習センター施設機能強化事業	R5	年々複雑多様化し、増加する教育相談・不登校対策業務に対応するため、プライバシー確保に配慮された間取りへの変更など、利用者が安心して通所できる施設整備を実施する。	施設整備工事の実施	工事の完了	【R6成果目標】 教育相談を実施する施設として「安心して利用できた」(80%以上)	【R6成果目標設定の考え方】 利用者(児童生徒、保護者)のうち大多数がプライバシー保護がされていて、安心できるとした値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	文化財保存整備事業	H24 ～ R13	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	野嵩石畳道の基本設計を行う。	①野嵩石畳道基本設計:1件	【R8成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 重要な文化財を景観・安全に配慮した保存整備を行い、文化教育、観光振興につなげる。 R5年度:基本設計 R6年度:実施設計 R7年度:保存整備工事 R8年度:公開	【R5成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市教育委員会主催の文化財教室)等を参考に設定した。
3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24～ R13	市立博物館が所蔵する写真資料の整理を行い、写真データおよび歴史的公文書の公開を行う。	・デジタル化済み写真データの情報入力。 ・情報入力が進んだ写真データの順次公開。 ・公開基準に基づいた歴史公文書の順次公開。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上。	【今後のスケジュール】 写真資料の整理を行い、システム上に写真データを公開する。また、歴史公文書についても並行して整理を行い、順次公開をすすめていく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	【平和大使育成事業】 県内研修に参加する人数 ・市内中学生:8名、青年層:1名 ・フォローアップ研修:1回 【平和祈念事業】 啓発イベント回数:5回実施	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上	【今後のスケジュール】 市立中学生8名及び市内青年層1名に平和大使に認定証を交付し、県内研修に参加する。派遣後は、平和大使として市が実施する平和事業に関わっていただき、市民に戦争の悲惨さや平和の大切を啓発していく。翌年のフォローアップ研修を行うなど取り組みを継続していく。	【R5成果目標設定の考え方】 啓発事業のため、どのように感じたのかだけでなく、アウトプットについてもアンケート項目に入れ、本事業の効果的な在り方について検証を行う。
4	②	英語教育推進事業	R4～ R13	英語指導助手(ALT)を小学校に1名～2名ずつ派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。また、英語指導助手(ALT)を中学校に1名ずつ派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	・市内小学校9校へALT(各1～2名)を派遣 ・市内中学校4校へALT(各1名)を派遣	①ALT配置等による「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%(形成テストより) 生徒(中学3年生)の割合60%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)90%以上 ③児童英検の正答率(小学6年生)85%以上 ④6月実施県学力定着度調査の県平均との正答率の差+1ポイント(中学校3年生)	【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	③	学校ICT活用指導支援事業	R4～R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員2名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	学校ICT業務担当員:2名配置 情報夏期講習会:13回	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。
4	④	中学生語学研修派遣	H31～R13	語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。 また、国の外交の中核となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。	・市内中学生10人を国内語学研修施設へ派遣(5泊6日)	語学学習研修生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を95%以上	【今後のスケジュール】 コロナ禍により短期海外留学については未だ不透明な部分が多いため令和5年度についても国内の語学研修を実施するが、今後は海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	図書館遠隔地サービス事業	R5	公立図書館へのアクセスが厳しい地域等を定期的に巡回し、図書館利用の難しい市民の学習環境の向上を図るため、移動図書館を導入する。	移動図書館購入	移動図書館配備完了	【令和6年度当初から令和14年度成果目標】 ・巡回回数1,872回 ・利用者数72,090人 ・貸出冊数262,881冊	【R6成果目標】 ・巡回回数208日 ・利用者数8,010人 ・貸出冊数29,209冊
5		市民防災事業	H27～R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄を行い災害に強いまちづくりを推進する。	①保存食及び保存水等の備蓄 ・R5年度備蓄食糧購入5,500食 ・R5年度保存水購入(500ml)1,104本 ・R5年度非常用おむつ(子供用)1,272枚 ・R5年度非常用おむつ(大人用)568枚 ・R5年度災害備蓄用生理用品2,150枚 ・R5年度液体ミルク360缶 ・R5年度アレルギー対応ミルク1缶 ・R5年度ほ乳ボトル50個	①保存食及び保存水等の備蓄 ・R5年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R5年度保存水 備蓄率12% ・R5年度非常用おむつ(子供用)33% ・R5年度非常用おむつ(大人用)33% ・R5年度災害備蓄用生理用品38% ・R5年度液体ミルク33% ・R5年度アレルギー対応ミルク33% ・R5年度ほ乳ボトル100% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「80%以上」と設定。	引き続き、宜野湾市地域防災計画に基づき設定した必要な保存食・保存水を備蓄し災害に強いまちづくりを推進する。また、これまでに整備した資機材を活用した防災訓練を年2回以上は実施することを目標とする。	【R5成果目標設定の考え方】 宜野湾市防災計画に基づき設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、若手地権者等によって構成される「若手の会」等の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:80人	【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びねたてのまちベースミーティングの活動を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討及び市民・県民・地権者との合意形成、情報発信等を実施する。	跡地利用の実現に向けた取組の具体化	「跡地利用の実現に向けた取組の具体化」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	(後年度の成果目標) 跡地利用計画策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【計画策定の進捗スケジュール】 R1 配置方針・配置方針図の更新 R2 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」(事務局案)作成へ向けた検討 R3 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」(委員会案)作成 R4 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」作成 R5 「跡地利用の実現に向けた取組の具体化」作成	中間取りまとめの段階では、具体的な内容やスケジュールが決まっていないため、跡地利用計画策定後、跡地利用計画に対する、市民・県民・地権者等からの肯定的な評価が80%以上得られていることを成果目標とする。
7		地域キャリア教育支援事業	H30～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の年2回の開催 ・市内小中学校全校でのキャリア教育プログラムの実施 ・中学生の職場体験前のマナー講座等の実施 ・保護者向けキャリア教育講演会の拡大(2回以上)	児童生徒へのアンケートで就業意識が肯定的に変化したことが分かる割合:80%以上	【今後のスケジュール】 アンケートの結果をもとに、地域ぐるみでキャリア教育プログラムに取組めるよう努める。また、コロナの影響もあるが、学校担当者により対応にばらつきがあるため、全小中学校でのプログラム実施に向けて、取組みを強化する。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識の向上が図られれば、若年者の失業率が改善すると考えられる。
8		市民会館機能強化事業	H31 ～ R6	建設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①施設工事【機械設備】 ②施設工事【電気設備】 ③工事監理業務【機械・電気】	施設工事(機械設備)、施設工事(電気設備)、工事監理業務(機械・電気)の継続	【R7成果目標】 利用者実績 24,619人 年間公演数34回 【今後のスケジュール】 R6: 施設工事(機械設備)、施設工事(電気設備)、工事監理業務(機械・電気)	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し、設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		宜野湾市基地返還跡地 転用推進基金事業	H24 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、土地の先行取得に取り組む。	・基金の積立	<ul style="list-style-type: none"> ●普天間飛行場 特定事業の用に供する土地取得目標 25,000㎡ ※先行取得目標面積 195,400㎡ ●インダストリアルコリドー 特定事業の用に供する土地取得目標 5,000㎡ ※先行取得目標面積 25,000㎡ 	【今後のスケジュール】 返還後の跡地利用の推進を図るべく、令和13年までの間で、普天間飛行場及びインダストリアルコリドーにおける必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。